

【教育目標】

【知】自ら学び、考え、進んで行動する人

【徳】互いを尊重し、協力する人

【体】心身ともにたくましく健康な人

杉並区立中瀬中学校

下井草4-3-29 Tel 3399-2196

中瀬

新しい日常に向けてステップアップ

校長 香西 雅斗

今週末には梅雨入りというニュースも聞こえてきました。科学と自然の散歩みちでもビワの実が色づき始め、アジサイの花やクチナシの花も咲き始めました。

【1】生徒みんなで新しい生活様式を身に付け、その上で自分たちで工夫し考え実行しよう

分散授業、時差登校の形で学校が再開され、細心の注意を払いながら給食も始まりました。生徒たちはマスクを着用し、自分で出したごみを自分で持ち帰り、休み時間でも隣の教室で学習している他の学年に気を配りながら、生活をしています。

5月最終週に体育館で行った学年・学級別登校の時に生徒に説明しましたが、今回の新型コロナウィルスは感染しても症状が現れる（発症）割合はそれほど高くないが、“症状が出る前にウィルスが増殖する（2日前がピークという調査あり）”ことが分かってきました。

2日後に自分が発症しているかどうかは誰もわかりません。ですから「自分がウィルスを出しているかもしれないことを前提に生活する必要がある」のです。

自分が感染しないことはもちろん望ましいのですが、感染が広がる確率を、みんなでできるだけ下げることは、最も重要なことの一つです。そのために厚生労働省や東京都は『新しい生活様式』『新しい日常』の定着を呼びかけています。

『新しい生活様式』の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い
□人との間隔はできるだけ2m
(最低1m) 空ける。



□遊びにいくなら屋内より屋外
□会話をする際は、可能な限り
真正面を避ける。

□外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用

□家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。

□手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）<厚生労働省資料抜粋>

そもそも学校は3密の典型で、中瀬中ではその回避のために、ドア・地窓を取り外し、天窓を解放しています。教員の部屋も分散しました。

またコロナウィルスは、プラスチックや手すり、机や紙などの表面上に数日間残存というと調査もあります。そこで、トイレもつい立てを置き、ドアに触れずに入れるようにしました。放課後は校舎内を消毒しています。



難しいのは“密接回避”。フラフープをつけて生活するのは、現実的ではありません。そこで中瀬中では、生徒みんなに「自分の物、自分の場所以外は、極力触らない習慣をつけよう」と呼びかけています。

制限のあるなかですが（文部科学省のガイドラインで体育は、体が触れ合う可能性のある運動は少なくとも1学期はできないなど）授業は再開されました。



しかし学校は、教科の授業だけではありません。障害者理解・留学生交流などを含む様々な機会、行事、生徒会、部活動など『学校は学びの宝庫』です。それらを再開していくためには生徒のみなさんが、「自分の物、自分の場所以外は、触らない習慣」を確立した上で、自分たちで考え工夫していくことが必要です。全てをマニュアル化することはできないし、細かいところまで先生の指示を待つこともできないからです。



＜教員が携帯している消毒グッズ＞

例えばバレー部なら、ボールは複数の人が触れる可能性があります。「自分がウィルスを出しているかもしれないことを前提」に、どうやったら感染の広がりを抑えられるのか、自分たちで考え実行していくことで、初めて部活動がスタートできるのです。

もしコロナの再流行があっても、学校の活動が続けられるためには、生徒みんなで、新しい生活様式の習慣を身に付け、自分たちで工夫し考え実行していくことが大切です。

【2】教えてもらう、させられる勉強でなく、『自分で決め、選び、考える』学びを続けよう

臨時休校期間中、生徒のみんなは、正解が分からぬことに不安を抱きながら、それでも“学び”を進めてきました。（君たちが取り組んだ課題を、全員はできませんが各教室に展示してもらうよう、先生たちにお願いしてあります。）



学校が再開して教室の様子を見て回っていると、1年生は、先生の指示を待っている姿が、けっこう見られますが、3年生になると、指示を待たずにワークや教科書を進めたり、1・2年の復習を行うなど、多くの生徒が自分で“学び”を進めています。さすがです。

「理解するため25分真剣に授業を受け、残りは自分で学習を進められるのでとてもやりやすい（3女）」という声もあります。今、高校も大学も、オンライン授業が進んでいます（といっても1時間のうち10～15分で、残りは配信された課題に自分で取り組み提出という形が多い様です）。生活だけでなく学習も「コロナ流行以前に戻るのではない」今まで培ってきた“自学自習”を活かそう！

【3】心のソーシャルディスタンスも大切にしよう

友達が落とした物を拾ってあげることが、親切ではなく望ましくない状況になるとは、誰も予想できませんでした。感染が広がる確率を下げるためには“非接触（例：体温計、レジ）”が基本ですが、気持ちの距離も離れていくそうです。こんな時だからこそ、相手の状況に思いをはせ、例えば物を落としたら「落ちましたよ」と声をかけるなどの、さりげないコミュニケーションと、自分達を支えてくれる方々への感謝の気持ちを大切にしていきましょう。

＜R2年度予定～体育大会、音楽発表会、修学旅行などの主な行事と夏季休業はNo.395に発表済＞

（1）定期考査 7/27,28（5科）、9/16～18（9科）、11/17～19（9科）、2/24～26（9科の予定）

（2）土曜授業 6/20,7/11,9/26（給食有り6時間）、10/10,11/14,12/5,1/16,2/6,3/6

（3）夏季休業 8/1～23（パワーアップ教室8/3～7）、冬季休業 12/26～1/6、春季休業 3/26～

※今年度については、通知表は10/10と3/25（3年生は3/19の卒業式）に発行します。

また、3年生については7月末に国・社・数・理・英の仮評定を出し、2年生の音・美・保体・技家の評定と合わせて夏休みの進路面談の資料とします。また12月には9科の評定を出します。

技能教科の授業数が少ないと、授業でできることが限られているため、2年の時の評価を資料とします。